

『税務・会計データベース Standard』の新たな活用法が広がります！

国税4法を完全網羅し、複数の税目にまたがる税務問題の解決に役立つ『税務・会計データベース Standard』に、新たなコンテンツとして、『土地評価Q&A WEB』『株式評価Q&A WEB』が加わりました。財産評価に関するQ&Aや解説、資料、判決例・裁決例を数多く収録し、皆さまの業務をより一層、強力にサポートいたします！この機会に、パワーアップした『税務・会計データベース Standard』をぜひご体感ください。

会社税務の実務WEB

年間利用料：本体14,400円+税
会社税務の諸制度から申告書作成のポイントまで、実務に必要な情報をわかりやすく説明した実務解説集

会社の税務Q&A WEB

年間利用料：本体12,000円+税
税理士や企業の経理担当者が日頃直面する税務問題について、Q&A方式で解説

所得税Q&A WEB

年間利用料：本体12,000円+税
所得税に関する多様な事例を、結論にいたるプロセスや根拠、背景を掲げながらQ&A方式で解説

相続税Q&A WEB

年間利用料：本体24,000円+税
相続税・贈与税・譲渡所得に関する諸問題を、具体的な状況設定をもとにQ&A方式で解説

NEW

土地評価Q&A WEB

年間利用料：本体12,000円+税
画一的な評価が難しい土地等の税務上の評価方法について、多様な事例をQ&A方式で解説

NEW

株式評価Q&A WEB

年間利用料：本体12,000円+税
株を中心に知的財産権・動産等の税務上の評価方法について、多様な事例をQ&A方式で解説

消費税Q&A WEB

年間利用料：本体12,000円+税
消費税の具体的な取扱いについて、根拠法令や考え方を明確にしながQ&A方式で解説

税務・会計データベース D1-Law.com 税務・会計法規

年間利用料：本体50,400円+税

税務・会計監査関係の法令・通達・資料等約3,200件という豊富な情報を収録した法令・通達集。シンプルで直感的な検索から複雑な絞り込み検索まで可能な検索システムを搭載しています。年24回の更新で常に最新状態をキープし、網羅的かつ信頼性の高い法令情報をご利用いただけます。税務・会計データベース Standardとの相互連携を実現しています。

動作環境 ■必要環境：インターネットに接続する環境 ■Webブラウザ：Microsoft® Internet Explorer® 7~10 ■ブラウザ設定：Cookie, SSL, JavaScript™, スタイルシート有効 (標準設定)
■通信速度：ブロードバンド1Mbps以上 ■デスクトップ領域：1280×800ピクセル以上推奨 ■プラグイン：Adobe® Reader® 10以上推奨
■OS：Windows® Vista / 7
●Microsoft Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●Adobe® およびAdobe® Reader® は、Adobe Systems Incorporated. (アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。 ●JavaScript™は、Oracle Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

土地評価Q&A WEB

株式評価Q&A WEB





財産評価基本通達の事例解説集

『詳解 土地評価事例』『詳解 株式・知的財産権・動産等評価事例』を完全デジタル化！ 土地等評価540以上、株式等評価420以上ものQ&Aを豊富に収録しています。



こんなとき…

クライアントの社長から、自社の株式の評価を頼まれた。
クライアントの会社は非上場の小会社にあたる。
その場合の株式評価方法は…？

小会社の株式の評価方法を確認してみよう！

多彩な検索機能
「フリーワード検索」「目次検索」「事項索引検索」の3つの検索機能を搭載！
多くのQ&Aの中から、求めているQ&Aをスピーディに見つけ出せます！

小会社の評価方法は、「純資産価額方式」か「類似業種比準方式と純資産価額方式との併用方式」のどちらかを選択するようだ。両方の方式で評価額を比較してみよう！

純資産価額方式の検討

資産が増えていたら、それを考慮しなければいけないなあ。

Q&A方式を用いているため、純資産価額を算出する際の多くの留意点がわかりやすく明確に解説されている！

法令バールン機能
文中の参照条文・通達を、ワンクリックで閲覧可能！
リンク機能を利用して、条文・通達の全文を表示することもできます。
※条文・通達表示には、別途「D1-Law.com 税務・会計法規」のご契約が必要です。

株式評価Q&A

類似業種比準方式と純資産価額方式との併用方式の検討

クライアントにあてはめて業種目を判定すると、どうなるのかな？

Q&Aとあわせて、必要な資料をすぐに確認できる！
類似業種比準価額を算出する際の留意点や具体的な業種目別株価等を確認しながら計算できた！

併用方式の計算方法のQ&Aも収録されている！

資料編へ

株式評価Q&A

本商品の特色

Q&A方式で分かりやすく明確に解説！
数多くのQ&Aを収録し、計算例や評価明細書の記載例も掲載しているため、具体的な事例にあてはめて問題解決できます！

抜群の信頼を誇る執筆陣！
財産評価の第一人者である北本高男氏を中心とした、財産評価基本通達に精通する専門家が執筆しています！

財産評価に必要な資料を豊富に収録！
財産評価に関する資料や参考となる判決例・裁判例を本商品ひとつで確認できるため、スムーズに業務をすすめることができます！

検索機能

- Standard一括検索
- フリーワード検索（フリーワード掛合せ（AND・OR・NOT）/タイトルによる絞込み）
- 目次検索（総目次・細目次）
- 事項索引検索（キーワード（五十音））

その他機能

- 法令バールン機能
- 関連解説・Q&Aリンク機能
- お気に入り登録機能
- 情報共有機能（メール・Facebook・Twitter・Google+）

比較検討したところ、「類似業種比準方式と純資産価額方式との併用方式」の方が評価額を抑えられそうなのがあった！
豊富なQ&Aや資料を活用し、クライアントの相談にスピーディに対応することができた！